

先週のマーケット動向(7月5日～7月9日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,131.8	1,150.0	1,128.5	1,149.1	+14.1
JPY/KRW	10.1836	10.4698	10.1581	10.4388	+0.268
KOSPI	3,285.29	3,313.51	3,188.80	3,217.95	▲63.83

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇した。2日海外時間に発表された米6月非農業部門雇用者数が良好だったこと等あり、リスクオンムードになったことから、5日にドル/ウォンは1,131.8にてオープン。6日かけては材料難の中、1,130台前半で動意に乏しい展開となった。しかし、6日海外時間に入ると英国での新型コロナデルタ変異株の感染拡大が取りざたされたほか、OPEC+での協調減産協議の決裂等あり、原油価格が乱高下したこと等を受け、市場はリスクオフムードに。7日のドル/ウォンは1,140.5まで上昇した。7日海外時間に発表されたFOMC議事要旨には、「一段と顕著な進展」の基準には雇用が達していないとした一方で、今後も進展は続くとして記述されており、従来のFRBの主張と一致していることから市場への影響は限定的。9日かけては新型コロナデルタ変異株感染拡大が意識され続け、韓国政府が12日から首都圏の防疫措置レベルを最高値まで引き上げると発表するとドル/ウォンは1,150.0まで上昇した。結局、14.1ウォン高の1,149.1ウォンにてクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォン相場は上値の重い展開を予想する。新型コロナデルタ変異株の世界的な感染拡大は、引き続き予断を許さないものの、韓国では首都圏の防疫措置を最高レベルまで引き上げており材料が出尽くしつつあるほか、ドル/ウォンについては節目の1,150まで急上昇しており、水準感からウォン買いが入りやすくなっている。さらに、一時1.24%台まで低下した米10年債利回りも反発しており、市場の織り込みも相応に進んだ印象だ。15日のBOK金融通貨委員会では、利上げ時期に対し何らかの示唆が出る可能性もあり、こちらもウォン買い材料となろう。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1130 ~ 1155	10.15 ~ 10.45	109.5 ~ 111.5

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

USD/KRW チャート (Source: Bloomberg)



JPY/KRW チャート (Source: Bloomberg)



今後の予定

- 12日(月) 5月 機械受注
- 13日(火) 米 6月 CPI
中 6月 貿易収支
- 14日(水) 日 5月 鉱工業指数 確報値
米 6月 PPI
韓 6月 失業率
- 15日(木) 米 6月 鉱工業生産
米 7月 NY連銀製造業指数
中 6月 鉱工業生産
中 6月 小売売上高
韓 BOK 政策金利発表
中 2Q GDP
- 16日(金) 米 7月 ミシガン大消費者マインド指数 速報値
欧 6月 CPI 確報値
日 BOJ 政策金利発表
米 6月 小売売上高